

まちネット緑 2023年2月定例会議事録

日時・場所:2023年2月1日(水)16:00~18:00 みどり一む大会議室

出席者:池田、片山、黒沢、佐々木、田中、中島、樋口、吉開、津久井(アドバイザー)

欠席者:岡部、篠崎、長嶋、早川、満井、森、鷺山

配布資料:①2023年2月定例会議題 ②防災講座チラシ(災害から身を守ろう-主催:みどり国際交流ラウンジ・緑区役所総務課・中山地域ケアプラザ) ③第3回災害から身を守ろう活動記録) ④第37回緑区スポーツ人の集い ⑤第16回みどり一むまつり2023チラシ ⑥「広報よこはま」2月号 ⑦ヨコハマ議会だより No.127 ⑧津久井さんの問題提起資料(i 日本経済2025年の危機 ii 日本国の安全は守れるか? iii 東海村原子力発電所 ⑨国連気候変動枠組条約第27回締約国会議(COP27)結果概要 ⑩ACCEL(戦略的創造研究推進事業)

回覧:1月28日防災講座資料:気象災害から身を守ろう(一社;日本気象予報士協会)

1. イベント紹介

*1月21日(土)13:30~16:00 聴覚障害者向けDIGワークショップ

@相模原市立あじさい会館6階展示室

・障害者50人+サポート30人

・1チーム10人(各チームに手話通訳者や要約筆記通訳者のサポートが付く)

→相模原は、横浜市より行政の補助、支援が進んでいる(横浜はマニュアルをつくるだけ)

*1月22日(日) 神奈川建築士会記念イベント@そごう地下2F広場 (詳細はだるまHP)

参加:片山さん、田中さん、吉開さん、樋口

建築士会としては、J-Alert(ミサイル攻撃)に対応する建物は、今のところ考えていない。

*1月28日(土)14:00~15:30 第3回防災講座 @中山地域ケアプラザ資料-②③

田中さん参加

・参加者(受講者)は日本人3人、外国(スリランカ)人2人。

・気象用語は日本語と英語のバイリンガルで説明。

・参加者が少なかったため、スマホからの気象情報(キキクル)の入手(実習)をマンツーマンで教えてもらえ、好評だった。

*2月4日(土)13:30~16:30 @緑公会堂 第37回 緑区スポーツ人の集い 資料-④

*2月11日(土)13:30~15:00 @みどり一む

Vol.17. Open みどり一む(かるたで気づく?国際交流)

→外国人が作成した「かるた」は1月16日~1月20日 緑区役所に展示された。みどり国際交流ラウンジHPからもダウンロードできる。

・外国人はサポートする対象ではなく、ともに地域で暮らす(共生の)一員として考えるべき。

・今後、日本として本格的に「受け入れるのかどうか」が決っていない。

*3月4日~5日 みどり一むまつり&消防署見学(写真撮影や子供たちの引率などをお願いします)

佐々木さんがパネル展示をするので、使えそうな資料(写真やチラシなど)を渡す。

2. 「横浜市地震防災市民憲章」の唱和

3. 「広報よこはま」2月号から

- * 緑区防災講演会 3月11日(土)13:30~15:30 @緑公会堂
- * 100年前の十日市場 ~時は大正~ 大正時代の十日市場での人々の生活
3月4日(土) 10:00~11:30 @十日市場地区センター
- * 特別展「幻の写真家 チャールズ・ウィード ~知られざる幕末日本の風景~
3月12日(日)まで @横浜開港資料館

4. フリーディスカッション

◎デジタルバス停(QRコードが添付されており、スマホを使ってバスの接近情報が得られる)

- * 多くの高齢者はスマホを使いこなせず、宝の持ち腐れ。
- * それよりもベンチを設置して欲しい。
→東京都では、寄付を募り講演などにベンチを設置(寄贈)する制度(思い出のベンチ)がある。行政が予算を組まなくても、住民の寄付で出来る事もある(寄付は文化として根付くか?)。

◎津久井さんの問題提起 資料-⑧

(i) 日本経済 2025年の危機

- * 少子高齢化の進行。中小企業の継承者がおらず、廃業に追い込まれる。
→国力の低下を招く一因に。
- * 日本のこれまでの一国中心のモデル(島国根性)は、グローバル社会に対応できない。
- * 少子化対策のためには財源が必要だが、小手先の(これまでの延長線)対策では無理(例) 富裕層高齢者に回す予算を思い切って削り、少子化対策への財源に充てる(二兎を追う事はできない)。
→支援を打ち切られて、亡くなる人が出るかもしれない。反発は必至。
政治家は身の安泰(当選)を考えて、このような手を打てない。
- * 上記は極論だが、状況を変えるには新しい発想が必要だが、それが出来る人材が育たない(教育の限界)。
- * そもそも、人口の減少や経済の減速は悪い事か?
→これ以上の人口増加は食糧不足を加速させ、生き残れなくなる。
→低成長でもGNH(幸福度)の高い国はある。

(ii) 日本国の安全は守れるのか

- * 中国による日本の不動産(土地建物)の買いあさが進行(静岡県と同じ面積)
- * 買い付けに対する国の規制がない。
→諸外国や台湾の事例(どの様に規制をかけているか)を教えて欲しい

(iii) 東海村原子力発電所

- * 度重なる事故が起きているが、それが教訓になっているとは思えない。
- * 十分な対策をとらないまま、再稼働と運転の延長(60年まで)へ。
- * そもそも、原発施設の品質が低く、危機管理も不十分

- バックアップは、同一系統の発電機が海側に設置されている。
(一方、フランスのバックアップは3系統の異なったシステムが設置されている)。
→反対に、放射能防護基準は厳しすぎ(1mmシーベルト/年)。その結果、何時までも帰還できずに社会の崩壊を招いている。1mmシーベルト/年はショウジョウバエの実験で使われた値で、人間への適用はナンセンス。
* 自分で考えて(データの検証)、自分の身を守ることが必要だが、それを妨げているのは、視野が狭く自分で物を考えられない人間(習ったことを鵜呑みにする、協調性重視の同じタイプ)を産み出した教育。

次回の定例会:

2023年3月1日(水) 16:00~18:00 みどり一む大会議室

以上